

令和7年度

山形県議会広報・広聴委員会報告書

令和8年3月12日

山形県議会広報・広聴委員会

## 目 次

1	協議の経過及び結果について（概要）	1
2	令和7年度議会広報・広聴事業実績	2
3	令和8年度議会広報・広聴事業計画	6
4	山形県議会広報・広聴委員会委員名簿	9

### （参考資料）

- 令和7年度「議場演奏会と議会見学会」の開催状況について・・・11
- 令和7年度「生徒・学生、女性・若者と県議会議員との意見交換会」の開催状況について・・・16

## 1 協議の経過及び結果について（概要）

山形県議会広報・広聴委員会は、県議会の活動状況を広く県民に伝えるとともに、県民の声を広く聴き、県民が県議会を身近に感じられるような取組みを進めるため、今年度5回の委員会を開催した。

委員会では、広報誌の編集やテレビ広報番組の企画をはじめ、「生徒・学生と県議会議員との意見交換会」や「議場演奏会と議会見学会」の実施方法等について協議を重ねたほか、令和5年度に取りまとめられた山形県議会女性・若者参画推進会議の提言を踏まえ、令和6年度に開催した「女性・若者と県議会議員との意見交換会」、「生徒・学生による発表の場」を継続開催するなど、多岐にわたり県議会の活動に関する広報・広聴の充実に努めた。

来年度の広報・広聴事業の実施に当たっては、女性や若者をはじめとする県民が県議会を身近に感じ政治に関心を持ってもらえるよう、より効果的な情報発信の在り方や、広報誌の配布方法など時勢に即した手法を引き続き検討していく必要がある。

今後とも、開かれた県議会を目指して、議会の活動状況を広く県民に伝えるとともに、県民の意見を広く聴くための方策について、調査・検討をより一層深めていくことを希望する。

## 2 令和7年度議会広報・広聴事業実績

### 1 広報誌等

#### (1) 「県議会だより」の発行

県民に議会活動の概要を伝えるため、年6回発行し、県広報誌「県民のあゆみ」に合冊して全戸に配布（約40万部）した。

号	発行日	主な掲載内容
第108号	令和7年5月1日	令和7年2月定例会の概要、3特別委員会における議会政策提言
第109号	令和7年7月1日	常任委員会の活動紹介、トピックス
第110号	令和7年9月1日	令和7年6月定例会の概要、トピックス
第111号	令和7年11月1日	令和7年9月定例会の概要、トピックス
第112号	令和8年1月1日	議長の新年の挨拶、決算特別委員会の概要
第113号	令和8年3月1日	令和7年12月定例会の概要、トピックス

#### (2) 「県議会やまがた」の発行

県民に議会活動を詳細に伝えるため、年4回（定例会ごと）・毎号3,500部を発行し、県内市町村、主要団体、NPO法人、大学・短大等へ配布した。

号	発行月	主な掲載内容
第49号	令和7年5月	令和7年2月定例会の概要、新正副議長の紹介
第50号	令和7年8月	令和7年6月定例会の概要
第51号	令和7年11月	令和7年9月定例会の概要
第52号	令和8年2月	令和7年12月定例会の概要

#### (3) 若者向け広報紙「県議会ナビ」の発行

高校生を中心とした若者に県議会を身近に感じてもらい、県議会に対する興味を持ってもらうため、35,500部を発行、県内の高校・大学等へ配布した。

なお、山形大学のフリーペーパーを作成するサークル「Y-a i！（ヤイ）」に取材や編集の協力を依頼し、若者の感性を生かした紙面構成とした。

号	発行月	主な掲載内容
第10号	令和7年12月	やまがたこども選挙実行委員長インタビュー、生徒・学生と県議会議員との意見交換会レポート

#### (4) 「県議会のしおり」の配布

議会の役割、活動内容の周知を図るため、「県議会のしおり」を議事堂見学者等に配布した。

また、視覚障がいのある方向けに作成した点字版「県議会のしおり」についても、議事堂見学者への配布や県議会ロビーに備え付けるなどして活用した。

## 2 議場演奏会等

### (1) 議場演奏会と議会見学会

県民が県議会を身近に感じ、県議会に対する理解と関心を深めることを目的として、「議場演奏会と議会見学会」を開催した。

開催日	令和7年10月1日(水)
参加者	75名
実施内容	予算特別委員会の傍聴、議場見学、県議会の概要説明、議場での山形交響楽団弦楽合奏の鑑賞

### (2) 生徒・学生による発表の場

女性や若者をはじめとする県民の県議会への参画促進に向けて、県民が議会に訪れ理解を深める機会を創出するため、「生徒・学生による発表の場」を設けた。

開催日	令和7年12月10日(水)
発表者	県立酒田光陵高等学校ビジネス流通科の生徒12名
実施内容	「m a r a (マラ) マルシェ i n 山形県議会」として障がい者就労事業所等製品の販売実習を実施

## 3 県議会ギャラリー

若者を中心としたより多くの県民が県議会へ足を運ぶ機会を創出し、県議会を身近に感じ理解と関心を深めることを目的として、県内の児童・生徒・学生の文化活動の展示スペース「県議会ギャラリー」を提供した。

展示期間	展示内容
令和7年6月12日 ～7月1日	山形大学「ヤマガタSTEAMアカデミー」受講生の課題研究の成果
令和7年9月19日 ～10月9日	第1回山形県高校生歴史探究ポスターコンクール「レキタン2024」優秀作品
令和7年12月2日 ～12月19日	県立酒田光陵高等学校ビジネス流通科の課題研究の取り組み
令和8年2月18日 ～3月18日	県立山形東高等学校2年次生の「山東探究塾」の研究成果

## 4 インターネット

### (1) 県議会ホームページの運営

定例会・各常任委員会・3特別委員会・議会運営委員会の概要、地域議員協議会の内容や県議会のトピックスなど、議会の動きをわかりやすくタイムリーに掲載した。

## (2) 県議会インターネット中継の配信

県議会のホームページ上で「本会議」、「予算特別委員会」、「決算特別委員会」の生中継及び録画中継を配信した。

令和2年2月定例会にスマートフォン等向けの配信を開始して以降、アクセス件数は増加傾向にあり、今年度（令和8年1月31日時点）は16,235件（生中継：3,381件、録画中継：12,854件）となっている。

## (3) 会議録検索システムによる会議情報の提供

会議録検索システムに「本会議」、「予算特別委員会」、「決算特別委員会」の会議録を掲載し、ホームページ上で会議録の検索、閲覧、印刷、ダウンロードに対応した。

## 5 県議会テレビ広報番組（県政広報番組枠の活用）

### (1) YBC「やまがたサンデー5」の活用

放映日	タイトル	主な内容
令和7年 9月21日	よりよい県政に向けて ～県議会の政策提言の 取組み～	3特別委員会の活動紹介、議長、議会運営委員長、広報・広報委員長等のインタビュー
令和8年 2月8日	女性・若者に身近な県 議会を目指して	株式会社ハッピージャパンの若手社員と県議会議員との意見交換会、「maramalシェイン山形県議会」の紹介、副議長インタビュー

### (2) 県政広報番組を活用した定例会の告知

県政広報番組の告知枠を活用し、各定例会の日程告知と傍聴案内を行った。

## 6 総合支庁における議会中継

各総合支庁・地域振興局のロビーにおいて、「本会議」、「予算特別委員会」、「決算特別委員会」の中継を実施した。

## 7 報道機関（パブリシティ）の活用

議場演奏会と議会見学会や生徒・学生との意見交換会等の開催について、県庁記者クラブに情報を発信した。

## 8 広聴事業

### (1) 生徒・学生と県議会議員との意見交換会

生徒・学生に県議会を身近に感じてもらい、主権者としての政治参加意識の醸

成を図ることを目的として「生徒・学生と県議会議員との意見交換会」を開催した。

学校側の希望のほか、所在地や過去の開催状況等を踏まえ、5校を選定した。参加者は、議員が正副議長、広報・広聴委員を中心に延べ25名、生徒・学生が63名であった。

意見交換会は、参加した生徒・学生の発言機会確保のため、活動報告や班ごとのワークショップを取り入れるなど、学校側が希望する方式及びテーマ設定とし、幅広い内容で活発な意見が交わされた。

開催日	学校名（所在地）	出席議員数	参加者数
令和7年9月1日	県立山辺高等学校（山辺町）	5名	13名
令和7年9月10日	県立小国高等学校（小国町）	5名	10名
令和7年9月17日	東北農林専門職大学・附属農林大学校（新庄市）	5名	24名
令和7年11月20日	東北公益文科大学（酒田市）	5名	6名
令和7年11月27日	県立保健医療大学（山形市）	5名	10名

## （2）女性・若者と県議会議員との意見交換会

女性や若者を中心とした県民の県議会への関心を喚起するとともに、参画（傍聴、投票、立候補）を促していくことを目的として、県内企業の若手社員と意見交換会を行った。

開催日	相手方（所在地）	出席議員数	参加者数
令和8年1月23日	株式会社ハッピージャパン（山形市）	6名	9名

### 3 令和8年度議会広報・広聴事業計画

#### 1 広報誌等

##### (1) 「県議会だより」の発行（県広報誌「県民のあゆみ」との合冊）

項目	県議会だより	県民のあゆみ
発行回数	年6回 5月号（2月定例会） 7月号（企画記事） 9月号（6月定例会） 11月号（9月定例会） 1月号（決算特別委員会） 3月号（12月定例会）	年6回 隔月奇数月
規格	A4版 見開き2ページ（1月号のみ1ページ）	16ページ
配布先	全戸配布（約40万部）	同左
備考	幅広い年代の方が見ることから、より分かりやすい紙面となるよう工夫していく。	

##### (2) 「県議会やまがた」の発行

発行回数	年4回（定例会毎）
規格	タブロイド版 4ページ
配布先	県内市町村、主要団体、NPO法人、大学・短大等（3,500部）

##### (3) 若者向け広報紙「県議会ナビ」の発行

発行回数	年1回
規格	A4版 見開き4ページ
配布先	県内高等学校、大学・短大等（35,500部）

##### (4) パンフレットの配布等

議会についての理解や関心を高めるため、「県議会のしおり」等を議事堂見学者等に配布するほか、様々な媒体を活用し情報発信を行っていく。

#### 2 議場演奏会等

##### (1) 議場演奏会と議会見学会

県民が県議会を身近に感じ、県議会に対する理解と関心を深めることを目的として、議会見学会と併せて山形交響楽団による議場演奏会を開催する。

##### (2) 生徒・学生による発表の場

女性や若者をはじめとする県民の県議会への参画促進に向けて、県民が議会に訪れ理解を深める機会を創出するため、生徒・学生が活動を発表する場を設ける。

### 3 県議会ギャラリー

県民、特に若者に県議会を身近に感じてもらい、県議会への理解と関心を深めてもらうことを目的として、より多くの県民が県議会へ足を運ぶきっかけとなるよう、県内の児童・生徒・学生が学校の授業や部活動等で制作した作品の展示スペース「県議会ギャラリー」を引き続き設ける。

### 4 インターネット

#### (1) 県議会ホームページの運営

定例会・臨時会の概要や各委員会の活動状況等、様々な議会情報を引き続き一元的に掲載していく。また、県議会トピックスとして、上記以外の多様な活動も積極的に発信する。

#### (2) 県議会インターネット中継の配信

県議会のホームページ上で、「本会議」、「予算特別委員会」、「決算特別委員会」の生中継及び録画中継を配信する。

県議会映像配信設備の更新を踏まえつつ、より効果的な情報発信の在り方などについて検討を進める。

#### (3) 会議録検索システムによる会議情報の提供

平成4年分以降の「本会議」、「予算特別委員会」、「決算特別委員会」の会議録全文について、検索システムにデータを掲載し、ホームページから閲覧できるようにする。

### 5 県議会テレビ広報番組（県政広報番組枠の活用）

県政広報番組枠を活用し、議会広報番組の放映を実施する。

テレビ	県政広報テレビ15分番組による議会活動の紹介、各定例会の日程等の告知
ラジオ	各定例会・地域議員協議会の日程等の告知

### 6 総合支庁における議会中継

各総合支庁・地域振興局ロビーにおいて、「本会議」、「予算特別委員会」、「決算特別委員会」の中継を実施する。

## 7 報道機関（パブリシティ）、各種広報媒体の活用

報道各社に対し、議会活動の積極的な情報提供を行うほか、県広報広聴推進課所管の広報媒体の活用や市町村等の広報媒体を活用した広報に努める。

## 8 広聴事業

### (1) 生徒・学生と県議会議員との意見交換会

生徒・学生に県議会を身近に感じてもらい、主権者としての政治参加意識の醸成を図るため引き続き開催する。

なお、意見交換会の開催に当たっては、所在地域や過去の開催状況等を考慮して実施校の選定を行い、参加する生徒・学生の発言機会を確保するため、活動報告や班ごとのワークショップを取り入れるなど、実施校の希望を踏まえながら実施する。

### (2) 女性・若者と県議会議員との意見交換会

女性や若者を中心とした県民の県議会への関心を喚起し、傍聴や投票、立候補などの参画を促していくため、引き続き開催する。

### (3) 山形大学学生との意見交換

若者の政治参加などをテーマとして、相互協力協定を締結している山形大学の学生との意見交換を実施する。

## 山形県議会広報・広聴委員会委員名簿

委員長	佐藤正胤
副委員長	石川正志
委員	石川涉
委員	佐藤寿
委員	橋本彩子
委員	阿部恭平
委員	伊藤香織
委員	高橋弓嗣
委員	佐藤文一
委員	相田日出夫

# 参 考 资 料

# 令和7年度「議場演奏会と議会見学会」の開催状況について

## 1 事業概要

県議会をより身近に感じ、理解と関心を深めてもらうため、県民に親しまれる演奏会と議事堂の見学会等を併催し、県民が議事堂を訪れる機会の創出に取り組んでいるもの（平成28年度から年次開催）。

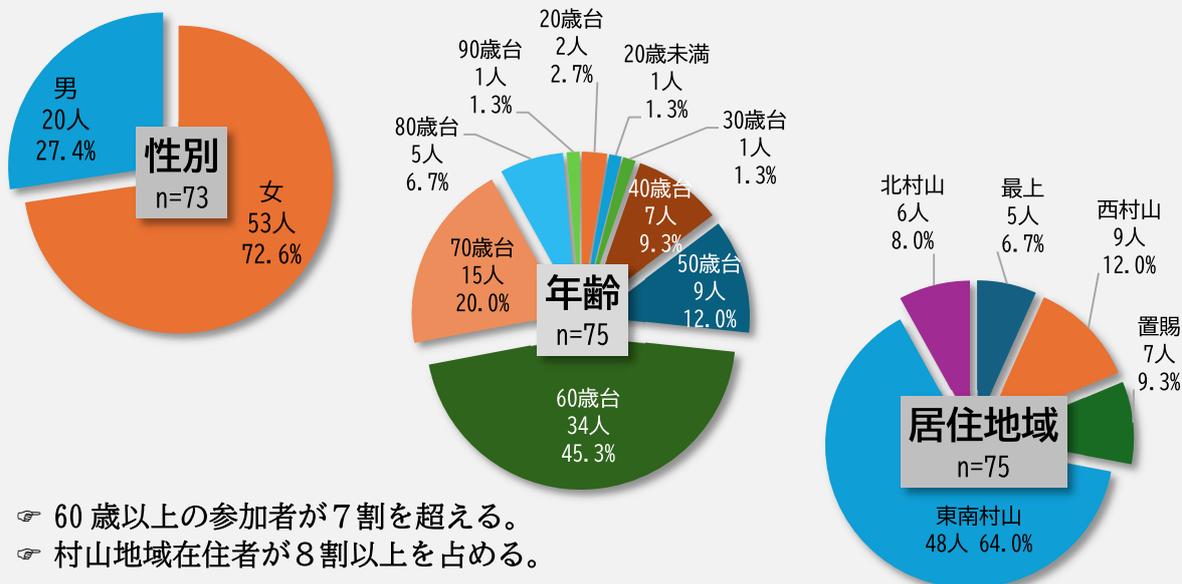
## 2 令和7年度開催概要

開催期日	令和7年10月1日（水） ※予算特別委員会2日目
参加者	一般県民75名（公募）
内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>県議会の概要説明（3グループ編成）</li> <li>予算特別委員会の傍聴（希望者・2グループ編成）</li> <li>議場演奏会の鑑賞</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>≪議場演奏会の態様≫                      演奏形態：山形交響楽団による弦楽合奏                      演奏者：8名（ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロ・コントラバス）                      演奏時間：約30分（5曲+アンコール1曲）</p> </div>

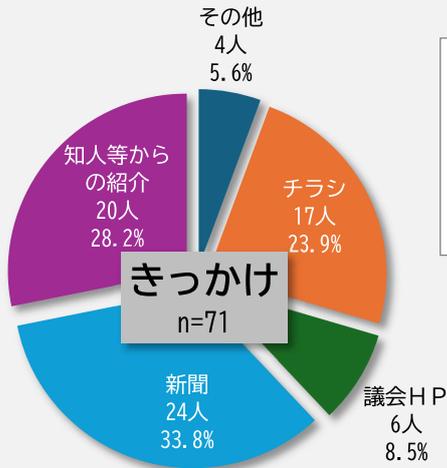
## 3 参加者アンケート集計結果

<p>≪アンケート概要≫                      実施日：令和7年10月1日（水）                      実施方法：当日受付にて用紙を配付。演奏会終了後、会場出口で回収。                      回答者：75名（全参加者）                      ※一部に未回答があり、設問によって回答数（n）が参加者数（75）と一致しない場合がある。</p>
---

### (1) 性別・年齢・居住地域



## (2) イベント開催を何で知ったか



- 「チラシ」を見た主な場所  
公民館、県・市町村の施設、大学構内
- 「その他」の内容  
県公式X、山響HP、県民のあゆみ

- ☞ 主な情報源は新聞、知人からの紹介、チラシ（公民館等で取得）。
- ☞ 参加者の年齢層も関係すると思われるが、インターネット経由は全体の1割程。

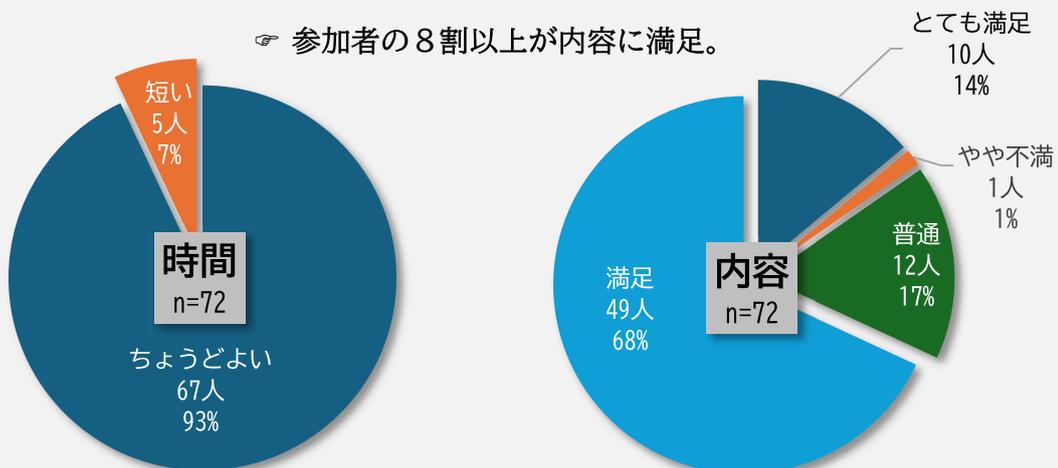
## (3) 参加理由



- ☞ 参加者の約9割が「山響を聴く」ことを理由に挙げた。
- ☞ 一方で、6割以上が「議会への興味」を理由に挙げた。

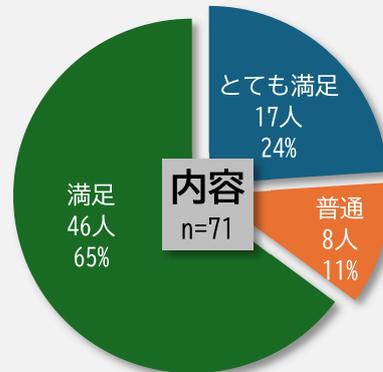
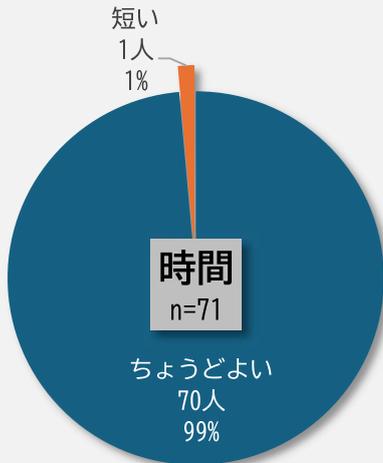
- 「その他」の主な内容
  - ◇ 議場に入ってみたかった。
  - ◇ 今年県職員を退職。いい機会だと思ったので。
  - ◇ 学生教育を行うにあたり教育上の示唆を得たいと考えた。

## (4) 議会の概要説明



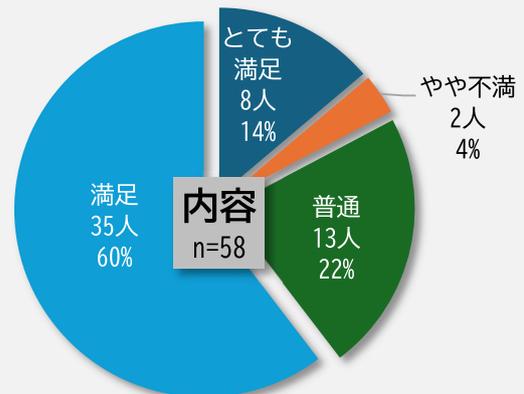
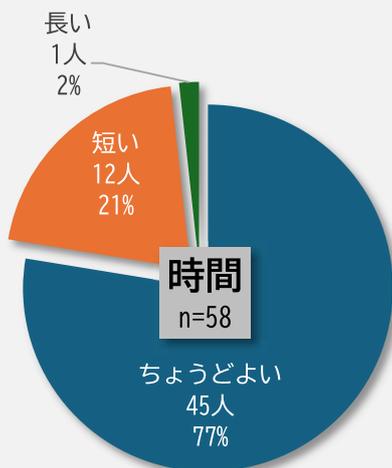
(5) 議事堂の見学

参加者の約9割が内容に満足。



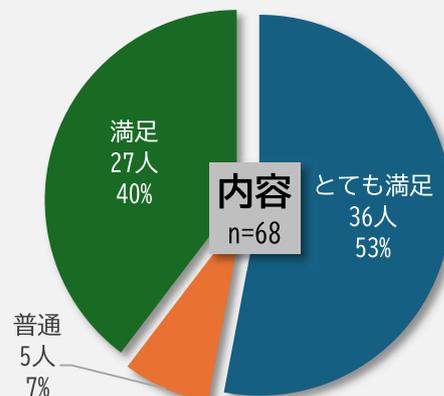
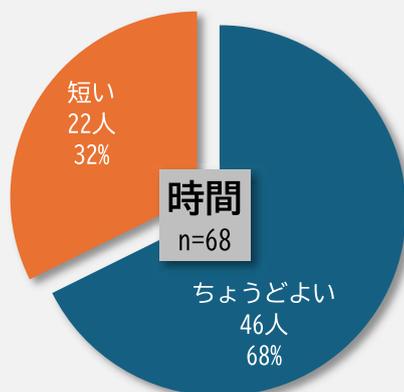
(6) 予算特別委員会の傍聴

参加者の7割以上が内容に満足したものの、約2割が傍聴時間を短いと感じた。

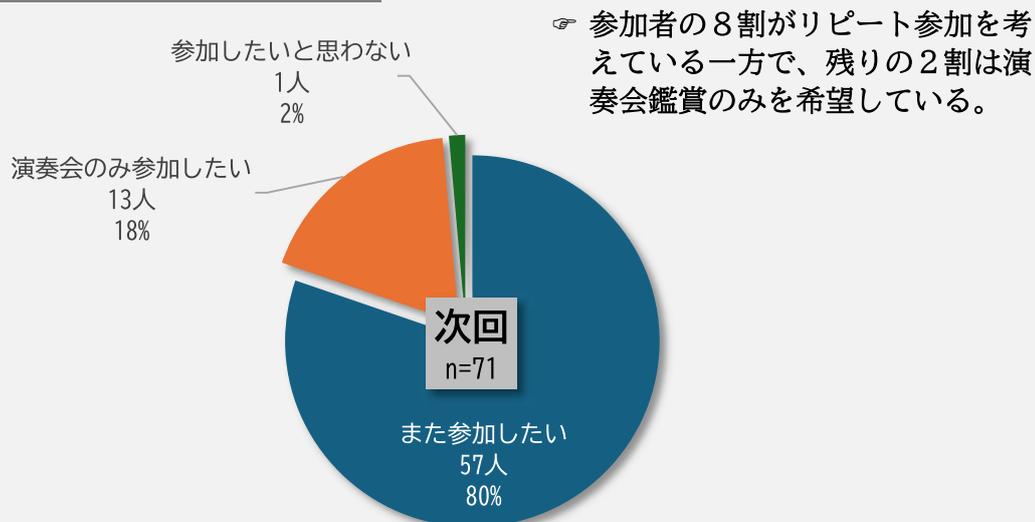


(7) 議場演奏会

参加者の9割以上が内容に満足した一方で、3割以上が演奏時間を短いと感じた。



## (8) 今後、同じ催しがあれば…



## (9) 感想など

### 《全般》

- ◇ 本日は貴重な機会となりました。ありがとうございました。
- ◇ 今日はありがとうございました。吉村知事も見られました。
- ◇ 県庁食堂（昼食）、知事室などの見学も希望します。昔、母がツアーで板垣知事と面会？しました。
- ◇ 願い叶った見学会、ありがとうございます。
- ◇ とても勉強になりました。県議会のことが知れてよかったです。
- ◇ 貴重な機会に参加させていただき、ありがとうございました。また、ぜひ参加させていただきたいと思います。
- ◇ とてもよい機会に恵まれ参加できたことをうれしく思います。今後も続けてほしいと思います。議会についての興味が出てきたように思います。
- ◇ 山形県人になって70年、小学校3年生の時、文翔館へ遠足に来ました。それ以来、県庁も移転し、初めて主人と勉強しに来ました。すばらしい、心に沁みる音楽まで聴かせていただきありがとうございました。
- ◇ 山響の演奏は聞いたことがあるので素晴らしいと思いますが、議会は初めてなので参加してよかったと思います。昭和50年に建てられた議場の机やじゅうたんが素晴らしいのに驚いた。
- ◇ 議会への関心を高めることができたと思う。素敵な演奏よかったです。
- ◇ 今後もこのような催しを続けていただきたい。
- ◇ 6年半程、会計年度任用職員でした、映像では議会を何度か見ましたが、議場には初めて入りました。ただただすばらしい議場だなと感じました、さすが、山形県産品にこだわっているのも立派ですね。弦楽器の演奏も初めて聴きました。少人数なのにまるで大人数のオーケストラのよう！涙が出そうでした。私、ピアノの発表会を12月に控えているので、勇気をもらえました。またいつか、県職員になって働きたい。
- ◇ 身近に議会が感じられました。大変良かったです。
- ◇ とても素敵な午後のひと時を過ごさせていただきました。ありがとうございました。

### 《開催時間》

- ◇ 左沢線利用のため途中退出した。もう少し早い時間帯で開催してほしい。
- ◇ 午前中の開催もお願いします。

#### 《見学会》

- ◇ 概要説明資料にある女性との意見交換会はどのように行われているのか？
- ◇ 見学時に議員席に座れたのは楽しかった。
- ◇ 1グループ40人はちょっと多いかなと思った（説明が届きにくい）。
- ◇ 本会議・予算特別委員会を個人で傍聴したい。
- ◇ 議会（本会議？）も傍聴してみたいと思いました。
- ◇ 傍聴席の間隔が狭い。隣の人と触れ合いすぎ。
- ◇ 審議の内容にもよるのですが、議会中、議員の方々は水分補給などをしないのでしょうか（少し心配です）。
- ◇ 金山町議会は町婦人会として毎回傍聴させていただいており、県議会も傍聴してみたいと常々思っていたのでよい機会でした。今度はじっくりと傍聴したいと思っています。
- ◇ 普段傍聴したことのなかった予算特別委員会を傍聴できとてもよかったです。

#### 《演奏会》

- ◇ 演奏会、楽しく聴かせていただいております。
- ◇ 音楽の力を信じています。すばらしかったです。
- ◇ 司会の声が聞き取りにくかった。
- ◇ フルオーケストラの演奏を是非！
- ◇ もっと山響の人数増やして演奏聴きたい。
- ◇ 響きが素晴らしかった。
- ◇ 議場演奏会はとてもよかったです（女性・男性4人ずつの構成にも男女共同参画でよいかと感じてしまいました）。
- ◇ 傍聴席が暗くなれば良いのと思う（可能ならば）。一度、議員の皆さんが一斉に振り向いて傍聴席に顔を見せてほしい。
- ◇ 演奏会冒頭、西濱さんのトーク他聞こえにくかったが、その後聞こえるようになったのでよかった。指摘した議員さんありがとう。
- ◇ しばらくぶりで傍聴しました。山響コンサートはいつも行っています。山響の司会者の声がほとんど聞こえませんでした。議会の司会者の声はよく聞こえる。同じスピーカーですか？
- ◇ マイクの音がちょっと聞きづらかったのが残念でした。
- ◇ 村川さんの思いを引き継ぐ楽団の未来にご期待いたします。
- ◇ 素晴らしかった。秋を感じた♡

#### 《その他》

- ◇ 県議会が身近になるよう更なる活動をお願いしたい（市町村議会・国会に比べあまり目立たない）。
- ◇ より多くの県民に県議会に関心を持っていただきたいです。
- ◇ 文翔館の旧議場にも行ってみたい。
- ◇ トイレが和室。様式をお願いしたいです。

# 令和7年度「生徒・学生、女性・若者と県議会議員との意見交換会」 の開催状況について

## 1 事業概要

### (1) 生徒・学生との意見交換会

- 県内の高校生や大学生などを対象に、県議会を身近に感じ、主権者としての政治参加意識を醸成することを目指して、平成27年度の試行を経て、平成28年度から「生徒・学生と県議会議員との意見交換会」を開催している。
- 令和7年度は、意向調査を通して5校を選定し、正副議長、広報・広聴委員を中心に延べ25名の議員が出席した。

### (2) 女性・若者との意見交換会

- 女性や若者を中心とした県民の県議会への関心を喚起し参画（傍聴、投票、立候補）を促すことを目的に、令和6年度から「女性・若者と県議会議員との意見交換会」を開催している。
- 令和7年度は、株式会社ハッピージャパンの若手社員と、議長及び広報・広聴委員5名が意見交換を行った。

#### ≪令和7年度 生徒・学生と県議会議員との意見交換会 開催概要≫

参加校・時期 ※会場：各学校内	テーマ・開催形式 ※学校の希望に基づき設定	参加者	出席議員 ※各回5名
県立山辺高等学校 9月1日(月)	◆山形県の未来を担う人材の確保と養成校の環境整備について ワークショップ形式（3班）	13名 (2~3年生)	榎津副議長 橋本彩子 高橋弓嗣 石塚 慶 吉村和武
県立小国高等学校 9月10日(水)	◆地域活性化のために高校生ができること ワークショップ形式（2班）	10名 (1~3年生)	榎津副議長 石川 涉 阿部恭平 鈴木 学 遠藤寛明
東北農林専門職大学 ・附属農林大学校 9月17日(水)	◆山形県の農林業の未来 ワークショップ形式（5班）	24名 (専門職大10名 大学校14名)	田澤議長 佐藤 寿 伊藤香織 松井 愛 柴田正人
東北公益文科大学 11月20日(木)	◆多様な若者が自己実現できる山形県を目指して 対話（1対1）形式	6名 (2~4年生)	佐藤委員長 橋本彩子 石川正志 矢吹栄修 加賀正和
県立保健医療大学 11月27日(木)	◆看護学生が考える山形県の保健・医療体制の現状や課題について ◆医療機関における働き方の現状や課題について ワークショップ形式（2班）	10名 (学部生7名 院生3名)	田澤議長 佐藤文一 相田日出夫 相田光照 高橋 淳

#### ≪令和7年度 女性・若者と県議会議員との意見交換会 開催概要≫

参加団体・時期 ※会場：事業所内	テーマ・開催形式	参加者	出席議員
株式会社ハッピージャパン 1月23日(金)	◆若者にとって魅力的な企業 ◆山形で暮らすことの魅力 ワークショップ形式（2班）	9名 (20~30代の社員)	田澤議長 佐藤 寿 橋本彩子 石川正志 阿部恭平 伊藤香織

## 2 参加者アンケート集計結果（生徒・学生と県議会議員との意見交換会）

### （1）意見交換会に参加した感想

- 参加した生徒・学生等からは、議員とのやりとりを通して学びや気づきの獲得、議会・政治への興味・関心の芽生えがあり、有意義な機会になったとの好意的なコメントが多くを占めた。
- 一方、意見交換の内容を深めるための時間確保など、実施方法に関する要望もあった。

#### ＜感想＞

##### ① 意見交換

- ・自分の意見を伝え、新たな考え方や見方ができることを有意義に感じました。
- ・なかなか県議会議員の方とお話する機会がないので、貴重な時間だった。とても勉強になった。
- ・貴重な機会をいただけて嬉しかったです。交換会といえるほど会話のキャッチボールができなかったのが残念です。
- ・県議会議員とお話する機会自体とても貴重でした。意見交換では、実習や講義を通して感じていた保健・医療現場の課題やこんな制度があったらいいなという希望を議員に聞いてもらえて、とてもありがたいと感じました。現在働いている看護師の勤務形態や潜在看護師の再就職に向けて何が必要だと考えるか、自分としても改めて考えるきっかけになりました。
- ・県の取組みについて知らないこともあったので、それを知る機会となり良かった。現状を知ってもらうきっかけにもなった。質問に対して論点がずれてしまったところも見受けられたため、質問への意見がはっきりしないところもあった。
- ・若者の立場の意見を親身に聞いてもらい、とてもいい機会になりました。また、学生としても政治や議会に関心を持つきっかけとなりました。意見交換会ということもあったのですが、学生の意見に対して具体的な内容をもって回答していただけることが少ないように感じました。現状を把握できたのはとてもいい機会になりましたが、これからどういう方向性で議会を進めていくのか、明言していただきたかったです。
- ・今回は貴重な体験をさせていただきありがとうございました。今回の意見を通してぜひとも実現に向けて頑張っていただきたいと思います。
- ・地域を盛り上げるためにできることを考えて高校生なりに試行錯誤して活動してきた成果を、山形県の地域のために働く県議会議員へ思いを伝えることができたことが嬉しかった。町外の地域の政策なども知ることができたのでおもしろかった。
- ・緊張していたこともあって話し合い中も自分の発言をできなかったところがこれからの改善点かなと思います。
- ・自分の意見も議員さんに伝えることができたが、他の生徒の意見も取り込めるいい機会になった。他にもこのような活動があると議員さんが提示してくれて、新たな知識が増えた。
- ・緊張したけど、現状について話すことができてよかった。大人からの意見を受ける機会が少ないからいい経験となったと思う。
- ・小国町役場の方々とは今まで何度か話す機会があったのですが、県議会議員さん達とは会ったことも話したこともなかったので、今までとは違う新しい角度から意見をたくさん聞くことができました。自分の意見に関してはあまり深く考えられずに当日を迎えてしまったことが改善点です。
- ・他の人の意見を聞き、自分では思いつかない意見をたくさん知れた。また、意見発表後に議員さんから「これはこうしたら実現できるのではないか」「こう考えることができ

るのではないか」等と大人側の目線で意見を聞けてとても参考になった。

- 最初は緊張したけど自分の意見をしっかりと発表し意見交換できてよかったです。議員の意見も聞いて小国町をより良くできるように頑張っていきたいと思いました。
- 自分の探究学習についても新しい視点から新しい発見ができたので、参加してよかったですなと思いました。大人から意見をもらうことが少ないので、県議会議員さんとの意見交換で自分の思っていたことと違う回答が来て様々な視点から考えることができました。
- 県議の方と、農業について話すことができとてもいい機会になった。
- 農業に対してそれぞれ違う考えを聞くことが出来て、とても勉強になりました。農林業の課題や取り組んでいることなど、様々お話を聞けてとても良い機会でした。
- 勉強になった。
- 現場の意見などを聞いてもらって嬉しかった。今回の意見が反映されていったらいいと思った。
- 今日の体験から、色々な課題や解決をどのようにしていくか、貴重な意見を聞けたとても有意義な時間でした。
- 県議会議員との意見交換会ということで貴重な体験でした。意見を出せたので良かったと思います。
- 個人や世代間で考え方が違うので様々な意見を聞けて刺激を受けました。
- 興味深い話しが沢山できた。
- 今後の農業について良い意見が出し合えて良かったです。
- 貴重な体験をさせていただいて、とても良かった。今回のことを活かして自分の考えを深めていきたい。
- 貴重な意見や参考になる話などがあつた。来年就農する身として頑張っていきたいと思ひます。
- 普段は聞くことの出来ない視点から農業の課題や可能性について知ることができ、とても楽しかった。
- 普段は体験できない県議会議員さんとの話し合いができ、貴重な経験になりました。
- 楽しかったです。
- 今回、議員さんと意見交換を行いたくさんの意見を得ることができました。定員割れが続く山辺高校でどんな魅力発信をしていくか、地域との連携をどうしていくかなど私達では考えられないたくさんの意見をいただきとても有意義な時間になりました。これから入学者数を増やせるように頑張っていきたいです！
- 今まで生徒の中でどうしたらいいんだろうと悩んでいた部分に、県議会議員から新しい視点で、新しい活動を始める、今ある活動をより発信するなどの具体的な意見をいただき、今後の活動に活かしていきたいと思います。
- なかなかこういった機会がないため、たくさん意見を交換できてよかったです。
- 今回は貴重なお時間をいただき、ありがとうございました。県議会議員からも意見をいただき、福祉に対するイメージを少しでも変えることのできる時間となったと思います。
- 生徒の私たちが県議会議員とお話をして、これからの山辺高校がさらに良いものとなるようにたくさん意見を共有し合えたのがよかったですなと思います。
- 貴重な体験をさせていただき嬉しく思ひます。県議会議員と高校生の私たちが話せる場は滅多にないので、自分たちの考えを伝え、逆にアドバイスをいただくことができ良かったです。自分たちの学校について改めて考えることができ、入学者を増やすために残りの時間で何が出来るか、これからも考えていきたいと思います。
- 意見交換会をさせていただいて、私たちだけではできないことや、新しい考え方などがあり有意義な時間となりました。

- 今後どうしていけばさらに良くなっていくか考えることができ、とても有意義な時間になりました。心から感謝申し上げます。
- 山辺高校の入学者数を増やすためにどうすれば良いのか、どうすれば魅力発信できるのか、直接議員とお話をして、内容を深めることができてよかった。とても貴重な体験をさせていただけて嬉しかった。
- 県議会議員と福祉、介護についてこれからできることを意見交換できてよかったです。これからはもっと福祉、介護の魅力を広めていけるように一員として頑張ります。

## ② 議員の印象

- 議員が参加者一人ひとりの発言に丁寧に耳を傾け、現場の課題に対して真摯に回答していた点が印象的であった。
- とても親身になって聞いていただきました。ありがとうございます。私たちの意見に無茶振りのような内容もあったかと思いますが、実現が難しい内容については、濁すのではなく、断言していただき良かったです。
- 山形県の医療の現場や私たちの生活面まで一緒に考えてくださっていることが伝わった。
- 県議会議員は山辺高校魅力発信のために、ポスターを飾ったり、動画を作成したりするのはどうかなどと私たちだけでは出来ないこと、叶わないことなどを提案してくださり、福祉というイメージの改善のために様々な事を考えてくださいました。山辺高校魅力発信の為に様々なことを考えて下さりありがとうございます！
- 議員さんが思っていた以上にフランクで、あまり緊張せず意見交換会に参加できた。

## ③ 議会・政治への興味・関心

- なかなか今まで県議会議員とお会いすることもなく、正直関心を持っていませんでした。今回の意見交換会では、こちらでは当たり前のことも議員さんからすると大変驚かされていることが多々ありました。やはり自分たちが主体となって関わっていく必要性を感じたため、まずは少しでも関心を持って情報に触れてみたいと思います。貴重な機会をありがとうございます。
- 本日の県議会議員との意見交換会を通して、県政がどのように市民の声を受け取り、具体的な政策に反映させようとしているのかを直接知ることができた。普段は距離を感じやすい政治の場が、想像よりも身近で、私たちの生活に直結していることを実感した。
- 自分自身の意見を言語化し、行政に対して伝える機会は多くないため、大変貴重な学びとなった。特に、現場の声が政策の改善に繋がる可能性があること知り、今後も地域の課題に目を向けていきたいと感じた。今回の意見交換会を通じて県政への理解が深まると同時に、自分たちの声が社会を動かす一端を担っているという自覚を持つことができた。今後もこのような機会があれば積極的に参加し地域の発展に関心を持ち続けたい。
- 県外の看護師がUターンで戻ることができるように、交代勤務体制を変えたり、ICT化や業務分担について推進しようとしていたり県議員の方々が様々な取り組みを行っていることを知るきっかけとなりました。私自身も看護職の働き方について研究を進めているので、県と連携して行えるような提言等も検討しようと考えました。
- 大学院生という少数派の意見を聞いていただく貴重な機会となりました。県議会を身近なものに感じる事ができ、今後はもっと政治に関心を持ちたいと思いました。
- 参加してみて、自分たちが思っていることを素直に話す機会にすることができたので、このことをきっかけに自分たちができるところを探し行動したいと思いました。どのような現状にあるのかを再確認することができました。また、私達では思いつかなかったことや他の町ではこのような事業が行われているなどといった様々なことを知ることができたので良かったです。

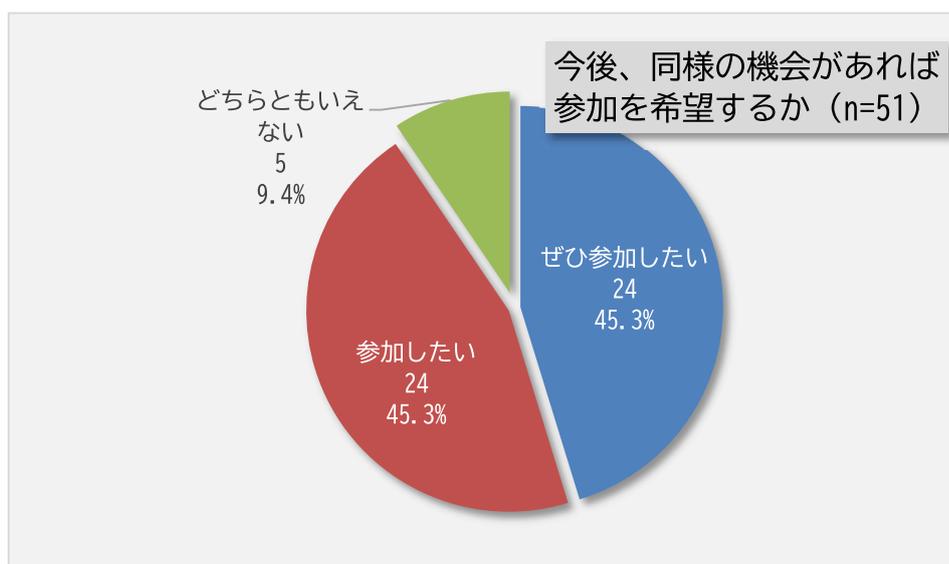
- 自分が思っていたことも伝えられ、議員さんからの助言もいただけたので、2年生になった時自分のマイプロに活かせる話し合いになったと思います。（※マイプロ：マイプロジェクト。主体性をもって、つくりたい未来に向けてアクションを行っていく学びのプロセス。）
- 自分や町の課題について真剣に話し合う大切さを実感した。私が求めていた取組みを県内でしていたことや、話をしてみて新たな課題を見つけることができたため良かった。
- 県議会傍聴に行ってみたいです。
- 県議会議員と実際に話すことができてすごく県議会が身近に感じました。

#### ④ 改善点・要望など

- 議員さんのアイデアが自分には考えつかないような内容で、かつ身近なわかりやすい話で意見交換がスムーズに行うことが出来て楽しかった。もう少し色々な意見を話し合いたかったため、また機会があれば時間を長めにとってほしい。
- 話を持ち帰ると言われた提案について、どのようになるのかホームページ上に記載されると見やすいです。
- 意見交換の時間が足りないと感じたこと、また議員ご自身の考えや県のことを教えてくださいましたが、学生が意見を述べる時間が少なく、物足りないと感じました。学生の進行では議員のお話に割って入ることが難しかったので、議員に時間配分を考慮していただけるとさらに有意義な意見交換となると感じました。
- 町議会議員にも参加していただけると小国町がもっと盛り上がる具体的な何かが見つかったのかなと思います。

## (2) 今後の参加希望

- 「今後、同様の機会があれば参加したいか」との問いに対して、参加した生徒・学生の9割以上が「ぜひ参加したい」もしくは「参加したい」と回答。概ね好意的に受け止められている。



### (3) 若者に対する効果的な広報

- 効果的な広報手段として、8割超が「意見交換会（の拡充）」、約7割が「SNSでの情報発信」を選択。
- また、興味・関心を持ちそうな内容として、半数以上が「若者に関連した議会の活動」及び「自分が住む地域のこと」を選択。



### 3 参加者アンケート集計結果（女性・若者と県議会議員との意見交換会）

#### （1）意見交換会に参加した感想

- 参加した社員からは、議員とのやりとりを通して学びや気づきの獲得、議会・政治への興味・関心の芽生えがあり、有意義な機会になったとの好意的なコメントが多くを占めた。
- 一方、課題として、意見交換の内容を深めるためのグループ編成など、実施方法に関する要望もあった。

#### ＜感想＞

##### ① 意見交換

- ・今までは他部署の方の話聞く機会がありませんでしたが今回多様な考え方を知ることが出来ました。普段悩んでいることは自分だけではなく他の方も同じように考えていると知れてよかったと思います。
- ・今回テーマにあった山形に住む魅力に関しては、年齢や出身を問わず感じていることは同じで、住むのに心地よい丁度いいといった方が多く、近年インバウンド需要などが高まっている中、外国人旅行者などが増えていますが、そうした住みやすさを損なうことのないよう、今後も重視していただきたいです。また、地方における車での移動を前提とした社会の中で今後運転が難しくなった場合などは、現在感じていない不便さも出てくるのかなと思いました。
- ・他の参加者の話を聞くことが出来て、自分にとっての仕事、自分にとっての山形を見つめ直す良い機会になりました。
- ・進学率の上昇で、県外に出る若者が多い状態ですが、県外に出たことで良さを再確認して、戻る方も一定数います。そういう方が山形に戻った時に暮らしやすいように、今の良さは残しつつ、娯楽施設やインフラ整備などに取り組めたら尚良いのだと思います。子育て関連の施設は利用のしやすさから県外からわざわざ遊びに来る人もいると聞きます。そういう所から山形県の良い噂が広まって、移住者も増えたら良いだろうと思います。あまりこういうことを考える機会はなかったので大変貴重でした。ありがとうございました。

##### ② 議員の印象

- ・正直、参加前はどのような会になるかわかりませんでしたが、県議会議員の皆さんも非常に話しやすく、フランクに意見交換ができたと感じています。
- ・堅苦しい意見交換会かなと思っていましたが、県議の皆さんが話しやすいように場を和ませてくださり、和気あいあいとした雰囲気でもとても良かったです。貴重なお時間ありがとうございました。

##### ③ 議会・政治への興味・関心

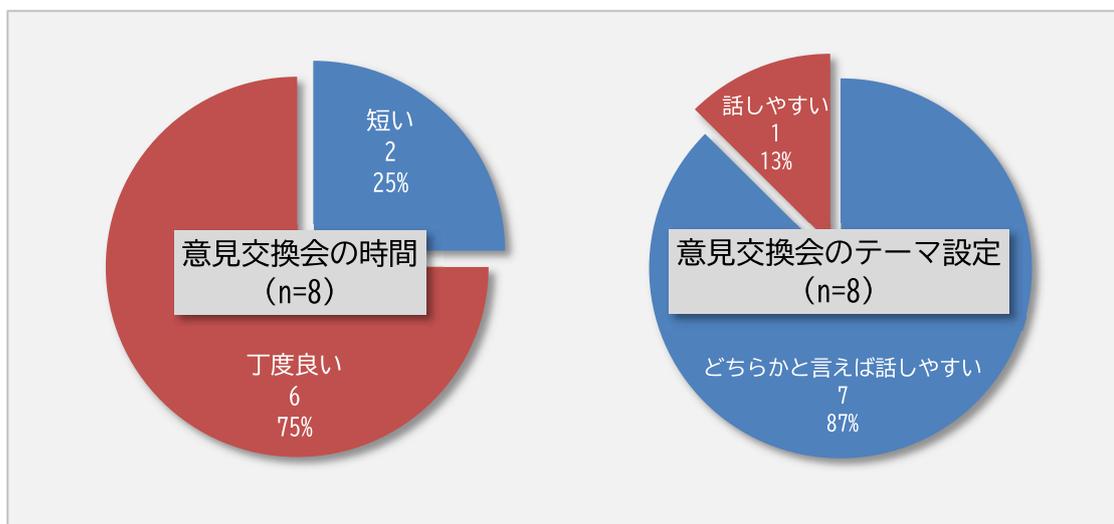
- ・議員の進行で話しやすい会だったと思います。政治だからと構えてしまうことなく、普段からの思いのたけを伝えられる雰囲気があったので、政治を身近に感じる事が出来ました。
- ・これまでは議員は遠い存在で、正直、あまり興味を持っていませんでしたが、今回の意見交換会でざっくばらんに話すことができ、議員を身近に感じる事ができました。

#### ④ 改善点・要望など

- なかなか県議会議員と意見交換する場がないので、貴重な体験になった。山形をより良くするために意見の反映を行ってほしい。
- 今回2班に分かれての意見交換会となり、時間の都合もあり難しかったとは思いますが、テーマごとにメンバーを変えて意見交換するのもよかったかなと感じました。
- わたしたちの意見を聞いてもらえるいい機会でした。わたしたち側の意見だけでなく、県議の側の、この課題に対して我々はこう言う対策をしていますとか、こういう形で発信しています、などのお話が聞ければ、これまでよりも議会に対する興味関心が湧くのではないかと思いました。普段、議会での活動等について目にする機会がないのでこういう機会でお話を聞くことができればいいなと思います。

#### (2) 意見交換の時間・テーマ設定

- 意見交換の時間は、「丁度良い」が多数を占めたものの、「短い」との意見も見られた。
- テーマ設定（話しやすさ）は、参加者全員が肯定的に受け止めている。



## 4 意見交換会での生徒・学生や女性・若者の声

### (1) テーマ：山形県の未来を担う人材の確保と養成校の環境整備 <県立山辺高等学校>

- 山辺高校についてより多くの場所で情報を発信するため、様々な企業等に就職している卒業生から協力してもらうのがよいのではないかと。また、山辺町とのコラボレーションや、農業に注目が集まっている中での生産者とのコラボレーションなど、新しいことにチャレンジすることも大切なのではないかと。
- 今はキャッチフレーズが「『あい』で育つ」の一つしかないが、増やしていくともっとPRしやすいのではないかと。
- 「福祉＝介護」のイメージを変え、「大変」というネガティブなイメージをポジティブなものに変えていくためにできることを3つ考えた。
  - ①在校生がなぜ山辺高校の福祉科を目指したのかを知ってもらうこと。
  - ②学童保育の児童と老人ホームの距離を近づけ、福祉に憧れを感じてもらうために、高齢者の方々との交流活動として実施している「ふくしかカフェ」に小学生を呼び、実際に高齢者に山辺高校生が接しているところを見てもらい、福祉の魅力を知ってもらうこと。
  - ③広報媒体を拡げるため、県議会にポスターを貼ることや、学校だけでなく県のホームページにも情報を掲載すること。
- 中学校を訪問し、どのような学科なのか1年生から3年生までしっかり伝えるとともに、保護者にもPRすることが大切ではないかと。
- 看護師国家試験の合格率が100%であること、大学よりも学費が安いこと、高い給料や再就職のしやすさなど将来性についても強くPRすることが重要ではないかと。
- 県外からの入学者を受け入れ、寮の情報も発信するとよいのではないかと。
- 他県の看護科コースのある高校とも交流し、互いの魅力を知ることもよいのではないかと。

### (2) テーマ：地域活性化のために高校生ができること <県立小国高等学校>

- 町を巻き込んだ活動をするとういのではないかと。
- 情報発信については、様々な活動に参加しながら色々な視点でターゲットに応じた発信方法を工夫するのがよいのではないかと。
- 小国町は通過する人が多く立ち寄ってもらえないことを、ポジティブに捉えた取組みを考えようといのではないかと。
- 小国町にはクマやマタギ文化など他の地域にはないものもあるので、それを生かした独特な発信方法など工夫できるのではないかと。
- 小国高校には都道府県の枠を超えた国内留学生も在籍しているが、その内面を知る機会が少ない。日常生活を通して感じていることを、癒しの視点でSNSで発信することなどができるのではないかと。
- 地域との関わりを増やすため、高校生など若い世代が活躍できる場所をつくるべきではないかと。
- 少子高齢化で町のスーパーが閉店するなどの現状があるが、他地域で実践されている郵便局の買物サービスなどと連携すれば、高校生が高齢者をサポートすることもできるのではないかと。
- 豪雪を利用した雪かきや「おぐにのつる細工」、地元の木材を使った小国らしい建物など、小国町の資源を生かした地域活性化の方法も考案できるのではないかと。

### (3) テーマ：山形県の農林業の未来 <東北農林専門職大学・同大附属農林大学校>

- 地球温暖化に対応するため、南国の果物であるマンゴーやパイナップルなどを取り入れる

のはどうか。また、品種改良して熱に強いものを作るのはどうか。ただし、課題として寒波への対応があるので、リスク管理も大切だと考える。

- 米について、最近米価が上がっている。計算上は需要に対し供給が足りているが、実際の現場では足りていないことがあると考えられるので、しっかりと増産を図っていくことが大切である。また、生産者への対価と販売価格を分けて考える必要があり、流通の簡素化が必要ではないか。
- 山形県産の農作物をどうPRするかについて、あまり知られていない伝統野菜など表に出ない野菜を前面に出していくとよいのではないか。
- 農林業の未来を広げるために、産地直売所でイベントを開催したり、話し合いの場を設けたりすることがよいのではないか。
- 新規就農について、新規参入者には補助制度などが色々あるが、それを利用することは心苦しいと感じる方もいるので、もっと新規参入者にも優しい補助制度を作してほしい。
- 山形県のブランド力について、さくらんぼの話題が薄れていたり、米沢牛や尾花沢牛など何に焦点を当てたいのか不明瞭と感じるので、大きな枠でブランド力をつけていくべきなのではないか。
- 収入を増やすために差別化や生産性向上が必要であり、若い世代がリーダーとなって引っ張っていくことで、農業は収入の面でも魅力的であることが多くの人に伝わるのではないか。
- 農業には高額な機械や機材が必要になるので、様々な栽培方法にチャレンジしようとする際の資金の問題を支援してくれる制度があるとよい。
- 林業の未来について、きつい、汚いという林業のイメージを改善するために、スマート林業の普及が必要。また、担い手不足の解消と木材の利用拡大のために、木造の建築物を増やしていきたい。

#### (4) テーマ：多様な若者が自己実現できる山形県を目指して 《東北公益文科大学》

- 不登校児の親が働きやすい環境を整備するために、育児休業や介護休業のように、子どもが不登校になったときに利用できる休業について法律や条例で制度化してはどうか。また、不登校児の親に対する支援で一定の実績を上げている企業に対し、子育てサポート企業としての「くるみん認定」のような認定制度を設け、認定要件の一つに従業員への研修の実施を盛り込むなどし、不登校児問題への理解や意識の向上を図るようにはどうか。
- 若者が山形県に回帰しやすい環境を整備するため、県内の企業をより深く知ってもらえるよう長期的なインターンシップにおける宿泊費を支援してはどうか。また、就職支援のポータルサイトを設け、色々なサイトを見なくても大事な情報を得られるよう、情報の統合化に取り組んではどうか。
- クマ対策として、クマ鈴を配付するという市町村単位や学校単位では実施例がある取組みについて、県単位で実施してはどうか。また、他県や国外に目を向ければもっと多くの対策があり、住民だけでなく観光客の安全対策に取り組んでいるところもある。山形県でも積極的にクマ対策に取り組んでもらいたい。
- 大学選択の場面で、学校の進路指導においては国公立を中心に紹介されるなど、幅広く大学の情報を入手することが難しいように感じるので、大学の特色がもっと積極的に発信されることが必要と考える。また、高校の探究学習において、情報を調べて終わるのではなく、もっと外に出て学習できる環境が必要なのではないか。
- 読み書き障がいなど、外見からは分からない障がいに苦しむ子どもたちの声を聴き、診断・療育など医療的な支援の充実及び入試制度における合理的配慮の拡充に積極的に取り組んでもらいたい。
- 東北公益文科大学の学生として地域活性化に関する活動を行っているが、広報や活動費への支援を、県としてももっと協力してもらえないか。また、個人の活動として情報セキュ



- 人の多さがちょうど良く、皆が優しい。
- 安心してゆっくり暮らせる環境が、自分には合っていると思った。一度県外に出て気付いた。
- 生活環境でのストレスが少ないことに加え、実は文化施設が充実しているという点もポイント。
- メインの移動手段は自家用車で、店舗などがそれを前提に駐車場を整備している。好きなところにいつでも行け、買い物も便利だと感じる。
- 身近に豊かな自然がある。温泉も気軽に行ける。食べ物がおいしい。精神的にも肉体的にも癒される環境がどこにでもある。
- 楽しむという視点と暮らすという視点は違うと感じる。東京に出向くこともあるが、山形に住んでいて不自由は感じないし、暮らしていて居心地の良い場所だと思う。満員電車で通勤する必要がない点も良い。
- 小さい頃は山形が田舎だと感じ、都会に憧れる気持ちもあったが、自分で車を運転するようになり、行動範囲が広がったことで、山形の中にも自然や遊ぶ場所があると気付いた。仙台も近く、暮らすにはちょうど良い場所だと思うようになった。
- 庄内にも新幹線が通るなど、県外とのアクセスが良くなると、もっと山形の魅力が増すと思う。